



国府台女子学院 小学部だより

市川市菅野3-24-1

Tel 047-322-5644

Fax 047-322-5655

8月の「千葉豪雨」により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。



2026年9月号

9月2日発行

<https://www.konodai-gs.ac.jp/>

充実した2学期に！

夏休み、家族で出かけたり、趣味に没頭したり、あるいはのんびりしたり、皆さんはどのように過ごされたでしょうか。

学校では夏休みに入っすぐ、4年生が2泊3日で高原学校に出かけました。暑い中でしたが、酪農体験、キャンプファイヤー、カレー作り、カヤックなど、楽しい思い出がたくさんできました。

また、前期と後期の夏期講習には多くの児童が参加し、真剣な様子で学習に励んでいました。

さて、2学期が始まりました。夏休みの楽しい思い出やがんばったことは、2学期の活動のエネルギーになっていくと思います。

一方、夏休み明けは、生活リズムを戻すのに時間がかかることもあります。無理をせず、睡眠時間をしっかりと、家庭内での会話を楽しみ、ゆとりをもった生活を心がけましょう。ご家庭のご協力をよろしくお願いいたします

育友会主催親子アスレチック大会

今年も100人近い児童が参加してのアスレチック大会が開催されました。児童たちは元気にたくましく動いたり、かき氷やわたあめを食べたり、スイカ割りやシャボン玉で遊んだりして、親子で楽しい一日を過ごしていました。

育友会の皆様、ありがとうございました。

合唱部の活躍

合唱部は、全日本合唱連盟千葉大会で銀賞、NHK千葉大会では金賞を受賞し、NHKコンクール関東甲信越大会への出場が決まりました。小学部としてはNHKコンクールで関東甲信越大会に進むのは初めてです。合唱部は、いつも仲良く熱心に練習している姿が素晴らしいです。9月5日にはTBSこども音楽コンクールも控えています。練習の成果が発揮できるよう祈っています。

夏休み中にピカピカ

夏休み中に、床のワックスがけを行いました。各教室、廊下、アリーナ、学校中の床がピカピカに輝いています

また、用務員さんたちは、普段できないところを丁寧に磨いてくれました。

感謝しながら2学期を過ごしましょう。

スマホ依存を防ぐために

過日、世界的な天才プログラマーのオードリー・タンさんが出演しているテレビ番組を観ました。インタビューの中でスマホ依存を防ぐための手だてとして、カラー表示をグレースケールにするという方法が紹介されていました。

画面の色味が変わるだけで興味関心が薄くなるのだそうです。もはや手放せないスマホですが、上手に活用したいものです。

今月の目標

「時間を守って、機敏に行動しましょう。」

『死にとうない』

高原学校の帰りのバスの中で、小学4年生の児童たちと映画『トイ・ストーリー3』を鑑賞しました。ラストに近い場面で、主人公のウッディ(カウボーイ人形)やバズ・ライトイヤー(アクションフィギュア)たちがゴミ処理場の焼却炉に落ちていく時、おもちゃたちは最後まで生きる希望を捨てずに抵抗していました。しかし、目の前の圧倒的な死(焼却炉の炎)を前に抗うのをやめ、迫り来る火炎を瞳に映し、恐怖に怯えながらも、持ち主のアンディのもとで暮らしてきた仲間たちとぎゅっと手をつなぎ合い、最期の時を迎えようとしていました。夢や希望、そして難局を乗り越える勇気を子どもたちに与えてきたディズニー(ピクサー)アニメとしては意外であり、深く考えさせられる描写に感じました。

人は生まれたからには、誰もがいつか必ず死を迎えます。この不可避な道理に人はどう向き合うべきなのでしょう？歴史上の偉人たちが死に向き合う姿もまた、後世に語り継がれています。まず、仏教の開祖ゴータマ・ブッダは、臨終を迎えた時、悲しむ弟子たちへ「諸々の事柄は過ぎ去っていく。怠ることなく励みなさい」と説き、諸行無常の真理を示して静かに涅槃に入りました。また古代ギリシャの哲学者ソクラテスも、理不尽な死刑宣告に対し命乞いをせず、「人は誰しも一度は死ぬのだ。その時が来たとして、うろたえるのではない」と弟子たちを諭し、穏やかでありながらも決して揺らぐことのない態度で毒杯を飲み干しました。

しかし、誰もが先賢のように死に向き合って受け入れられるわけではありません。破天荒な名僧として知られる一休宗純(一休禅師)は、臨終の際、立派な遺言(辞世の句)を期待する弟子たちを前に、「死にとうない(死にたくない)」と言い遺したと伝えられています。「大悟徹底(無常の理を理解し、迷いが一切なくなった境地のこと)」を成したはずの名僧が放ったこの一言には、「死を受け入れる悟りの境地になんて自分はないのだよ」と、肩の力を抜かせるユーモアセンスと気取ることのない本音が込められていると私は受け止めました。「生きたい」と願う心は、生きものとして備わっている当然の本能であり、それこそが飾り気のない人間らしさなのかもしれません。

『トイ・ストーリー3』のウッディたちも、決して「死(おもちゃにとって『廃棄』されること)」が怖くなかったわけではありません。死を恐怖しながらも、どうにもならない「死の定め」を前に、ただあらがうのをやめ、愛する友(家族)の手を握ることを選んだのです。「死にたくない」という人間らしい本音や弱さを素直に抱えつつも、訪れる「生死の道理」を受け入れること。そして、最後の時が来るその瞬間まで、与えられた「いま」を誠実に生き、出遭うすべての人々と慈しみ合うこと。それこそが、生と死のはざまをフラフラしながら歩んでいる、この「わたし」が生きていくためのヒントなのかもしれません。

9月行事予定

- | | |
|----------------------------------|--|
| 1日 始業式 | 17日 5年生出前授業 |
| 2日 委員会・短縮日課
職員会議 | 18日 5年生校外学 |
| 5日 縦割り集会 | 19~23日 休日 |
| 7日 4年生校外学習 | 25日 学院祭発会式 |
| 8日 クラブ | 26・27日 学院祭 |
| 9日 第5回学校見学会
(受験希望者対象) | 28日 振替休業(9/27分) |
| 12日 休業日
第3回学校説明会
(受験希望者対象) | 29日 職員会議 |
| 14日 仏教朝礼 | 9月の放課後学習ボランティア
(4, 5年生対象)
9月9, 16, 30日 |
| 15日 クラブ | |

*10月4日 市川まつり

5, 6年生鼓笛隊が出演します。